研修報告書

焼津市議会議長　様

議員氏名　石原孝之

平成　31　年　3　月　5　日に下記のことについて、研修に参加したため、概要について報告いたします。

研修名	注文を間違える料理店 in 厚生労働省
研修の目的	業界が大注目の【注文を間違える料理店】が期間限定で厚生労働省の食堂にて開催されました。認知症になっても安心して暮らせる街を。認知症になっても必要とされる役割があることを実際の目で見て、雰囲気を感じるために参加。

所　感

数年前から様々なメディアでも取り上げられ、世界中に広がっているこの『注文を間違える料理店』。ウエイトレスで注文を聴きに来るのは認知症の方。お店の名前の通り、注文をまちがえることを前提としているので、そこにはあたたかい雰囲気が流れていました。むしろ間違えずに注文したものが出てきたら、逆に残念のような、おもしろい感覚にもなります。認知症という誰もがおこりうる症状ですが、こうして逆転の発想から表にあえて出る。とても素敵な発想であり、そこにいる方みんなが笑顔で本当に驚きました。いずれ焼津にもこのようなあたたかいお店ができるようになれば、認知症になっても安心しまちづくりのきっかけになると感じました。

今後の参考となる事項

認知症という社会問題に対する取組。
生産性人口が減少していく中で、雇用や役割の確保。
認知症というネガティブなイメージも逆転の発想からポジティブに変換していく前向きな取組。

＊上記に書ききれない場合は、適宜別紙を添付してください。
＊参考資料等がある場合は、添付してください。